

SNS時代の「確証バイアス」

～“多くの人たちは、見たいと欲する現実しか見ていない”～

「A型は几帳面」、「O型はおおらか」などのように、血液型と性格を結びつける「血液型性格占い」は皆さんもよく知っているのではないのでしょうか。

しかし、実は日本以外の国ではほとんど知られておらず、また血液型と性格の関連性に科学的根拠がないというような研究結果も発表されています。

それでは、「A型の〇〇君は几帳面な性格だ」とか「△△さんはO型だからおおらかだ」のように、血液型と性格の関連性について、「当たっている」と感じることはなぜでしょうか。



人間は、自分に都合のいい情報にばかり目を向けてしまい、都合の悪い情報は無意識のうちに無視、または意識的に避けて目を向けようとしない傾向があります。これを心理学では、「確証バイアス」とよびます。（バイアス＝“先入観、偏り”）



例えば、A型の〇〇君が自分の机を整理している姿を見たとき、「やっぱり〇〇君は几帳面だ！」とってしまうのが典型的な「確証バイアス」で、「A型は几帳面」という先入観があるために、〇〇君の机の整理という行為に過剰に反応してしまうのです。しかし一方で、同じA型の△△君の机が散らかっている事実（反証する情報）は見過ごされがちになります。

インターネットやSNSが普及・発達した今日、私たちは大量な情報を手に入れることができ、そしてそれをもとに、世界をより正しく判断するチャンスが増えているように思われます。

しかし実際は、客観的に情報に向き合っているのではなく、「確証バイアス」により、自分の考えに沿った情報を簡単に受け入れ、反対の情報を排除してしまう傾向にあります。例えば、SNSでフォローするのは、自分の好みの情報や自分の考えに沿った情報を発信してくれる人物のみになりがちで、自分の好みや考えに反する人をフォローすることはほとんどないはずです。SNSでもインターネットでも、都合の良い情報、好きな情報など、自分にとって心地のよい「確証」を能動的に求めがちになっています。



また、人間はもともと自分に似たものとおつながりたいたいという欲求（同類原理）を持っており、SNSという閉じた環境はそれが増幅しやすい傾向にあります。SNS内で何回も同じニュースに触れるうちに、同じ意見だけが共鳴し合って拡散し、反対意見は排除されていきます。この現象を「エコーチェンバー」（共鳴箱）とよびます。

今から二千年以上前、ローマのカエサルという政治家は「多くの人たちは、見たいと欲する現実しか見ていない」という言葉を残しています。人間は誰しもが「確証バイアス」に陥りやすいことを認識して、物事を判断する時には、「本当にそうだろうか」と立ち止まり、情報を確かめること、また自分と異なる意見など、反証となるようなことも必ず検証することが重要になります。

<参考>・妹尾武治「SNS時代の確証バイアス」

（明治図書、『道徳教育2月号 SNS 最前線—情報モラルをどう扱うか—』、2020年）

・総務省『令和元年版 情報通信白書』第1章 第4節

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/html/nd114210.html>

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745（直通）、メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp

★子どもの安全安心に関する情報などをツイッターで発信しています→

